

# I 調査概要

## 調査目的

医療提供体制の変革期にあたって看護管理上の課題となる事項を取り上げ、管理者の課題認識、取り組み、課題に関連した実態を把握し、本会活動のあり方を検討する上での基礎資料とする。

## 調査対象

本会会員が勤務する全病院の看護管理者（看護部長またはそれに代わる職名の者）6,241人。

## 調査方法

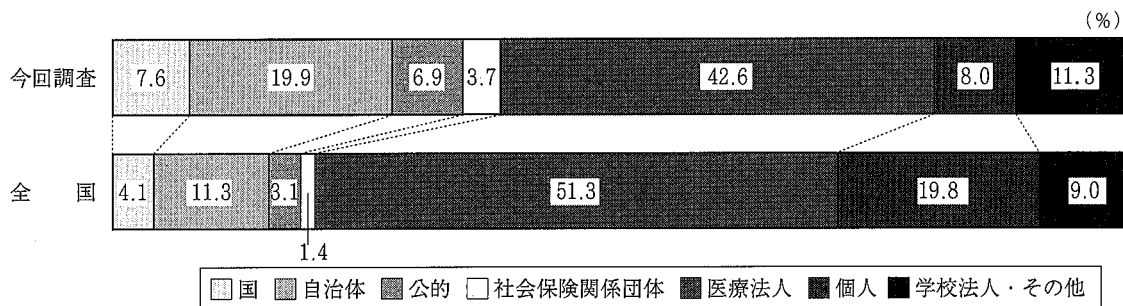
調査票を看護部長あてに郵送，直接本会調査研究課に返送。

## 調査時期

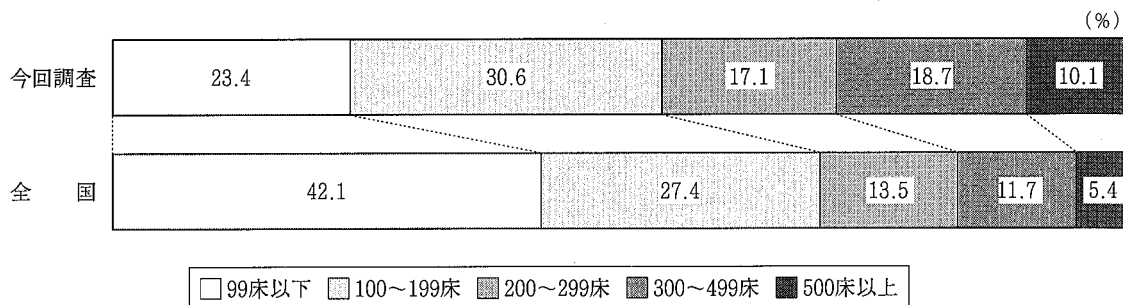
1996年11月。

## 回収状況

有効回収票は2,977，回収率47.7%。



図A 病院設置主体別構成比



図B 病床規模別構成比

## 調査担当

本会調査・情報管理部調査研究課（岩下清子，奥村元子）。調査票の設計段階で，叶谷由佳（東京大学医学部保健学科博士課程，調査実施当時調査研究課の嘱託研究員）が協力した。

## 回答者所属病院の傾向

調査対象となった看護部長が所属している病院

は，本会会員が勤務している病院であり，全国の病院と比較すると偏りがある。図A，図Bは，回答者の所属病院と全国の病院を比較したものである。回答者の所属病院は，国および公的な病院の比率が高く，医療法人，個人病院の比率が低い。また，病床規模別の比較では，小規模病院の比率が低く大規模病院の比率が高い。

本調査の結果の利用に際しては，以上の点に留意されたい。